

令和7年1月31日

保護者様

野田市立木間ヶ瀬小学校
校長 松藤 有里

令和6年度 学校評価アンケートのまとめ

日頃より本校の教育活動にご理解ご協力いただきしておりますことに心より感謝申し上げます。

保護者の皆様にご協力をいただきましたアンケート結果をまとめましたので、以下の通りお知らせいたします。このまとめを基に今年度の教育活動を振り返り、これからのお教育活動を一層充実させてまいりたいと考えております。今後のご支援、ご協力を引き続きよろしくお願ひいたします。

【アンケートの集計結果】

4 = よくあてはまる、3 = ややあてはまる、2 = あまりあてはまらない、1 = あてはまらない

番号	項目 (児童、保護者でアンケートの文言は異なります。)	児童			保護者		
		R4	R5	R6	R4	R5	R6
1	自分は予習復習や宿題読書などをしている。	3.19	3.01	3.13	3.16	2.96	3.06
2	学校は楽しい。楽しく通っている。	3.50	3.65	3.62	3.71	3.65	3.71
3	先生は困ったことがあつたら相談にのってくれる。	3.50	3.66	3.74	3.46	3.57	3.63
4	授業はわかりやすく楽しい。	3.38	3.39	3.53	3.50	3.57	3.46
5	先生はきちんと褒めたりしかったりしてくれている。	3.76	3.77	3.73	3.49	3.62	3.53
6	自分には、よいところがある。	3.13	3.14	3.31	3.23	3.20	3.30
7	先生は自分たちが安全に過ごせるよう気を配っている。	3.76	3.81	3.82	3.43	3.57	3.56
8	木間ヶ瀬小からのお知らせ (学校だより、学年だよりなど) をよく読んでいる。					3.45	3.53
	木間ヶ瀬小からのお知らせ (学校ホームページ、学校メールなど) をよく見ている。				3.55	3.35	3.43
9	学校へ訪れた時の教職員の対応はよい。				3.62	3.75	3.75
10	自分は健康に気を付けたり体を鍛えたりしている。	3.32	3.14	3.31	3.04	2.92	2.89
11	自分は学校のきまりを守っている。	3.28	3.24	3.47	3.61	3.47	3.62
12	自分は家族や地域の人に明るく挨拶をしている。	3.53	3.47	3.54	3.55	3.53	3.56
13	自分は友達が嫌がることはしないようにしている。	3.47	3.46	3.63	3.50	3.52	3.62
14	おうちの人によく褒められる。	3.05	3.08	3.20	3.54	3.57	3.54

→→→→→裏面に続く

【アンケートについての考察】

- (1) 項目2について、今年度、目指す学校像として、やる気みなぎる「楽しい」学校を掲げ、職員一丸となって、様々な教育活動を行ってきました。ただ賑やかに自由で楽しいのではなく、みんなで創り上げることが本当の楽しさにつながっているということを感じてほしいと伝えてきました。児童が「本当の楽しさとは?」ということを考えるようになってきたことによって、数値の微減となって表れています。
- (2) 項目3、9について、職員の対応は概ね良い評価をいただきました。今後も相談しやすい学校を目指していきます。
- (3) 項目5については、児童、保護者とも数値が下がっている点が気になるところです。様々な考え方をもち、得意なこと、苦手なことが異なる児童と一緒に学んでいる学校では、お互い相手を思いやり、考え方を認め合いながら、よりよい人間関係を築いていくことが大切です。学級全体がよりよい集団となり、その中で一人ひとりが成長していく場にしていくために、良いところは大いに褒めながらも、周りのことを考えないような自分本位の態度には毅然とした指導も必要であると職員で再認識したところです。
- (4) 項目4について、わかりやすい授業作りは、教師としてとても大事なテーマです。児童と保護者の捉え方にやや差が見られます。このことから、近年ICTの活用が進んだり、教科書の内容が変わって授業の形も変化していたりすることを、学校からの情報発信でもっと知っていただく必要性を感じています。
- (5) 項目1について、児童、保護者とも数値が上がっています。よりよい家庭学習のノート作りにつながればと2月に最後の4回目となるコンテストを計画しているところです。(昨年3回実施) 参加者は昨年より増えています。学習したことを定着させるために、家庭学習の継続的な取組はとても効果的です。家庭学習の意欲に結びつけていけるよう、学校でも「学ぶ楽しさ」を実感できるような授業を行っていきます。
- (6) 項目6について、児童、保護者とも数値が上がっています。「自己肯定感」「自己有用感」の向上は、項目14の児童「おうちの人によく褒められる」の数値が上がっていることと結びついていると思います。学校でも、一人ひとりの活躍の場を作り、小さなことでも認め合える学級作りを目指してきました。今後も、児童のよさを認める声かけを家庭と連携しながら、行っています。
- (7) 項目11、13について、「きまりを守る」「人の嫌がることをしない」という規範意識に関する数値が上がりました。今年度、学校全体で「心のバリアフリー」「共生社会」を考える学習に取り組んできたことが児童の成長につながっていると感じています。
- (8) 項目10について、進んで体を動かし、その心地よさを知り、健康に気をつける意識を高めることが重要であると考えています。今年度は、そのような考えの下、新しい形で持久走への取組を実施しました。来年度はさらに、積極的に外で遊ぶ子どもたちが増え、体力向上につながるような取組を考えています。
- (9) 項目8について、昨年度と比べて、手紙、メール等どちらもよく読んでいただいている保護者の方が増えています。よりわかりやすい情報発信を目指していきます。

【まとめ】

アンケートに回答していただき、ありがとうございました。

学校では、児童の様子や学校の取組を少しでも早く知っていただく手段として、今年度もブログの毎日更新を目指しました。また、学校だよりを自治会で回覧していただいたり、ホームページの体裁をリニューアルしたりして、学校からの情報を多くの方にご覧いただけるように努めております。今後も、児童の様子や様々な情報を発信できたらと考えております。

学校施設に関しては、随時点検、修理、修繕を行っています。安全管理上、倒木につながる恐れのある古い桜や駐車場から道路にはみ出しているような樹木の上方の枝を落としていただく作業を進めました。

今後も児童が「安全・安心」に過ごせる学校環境の整備に努めてまいります。